

会 議 録

会 議 名	第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 2 2 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 6 年 5 月 7 日（火）午前 9 時 3 0 分～1 0 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室 B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員 金ヶ江博紀委員、齋藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	八方浩之主査、伊藤修主事、永嶋汐美（会計年度職員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1 公民館運営審議会（4 月 1 7 日開催）の報告 2 令和 6 年度公民館重点施策について 3 令和 6 年度企画実行委員連絡会について 4 令和 6 年度講座企画について 5 各講座の報告と計画 〔報告〕成人学校「楽しくトレッキング 新緑編」 〔計画〕第 4 0 回貫井南センターまつり 高齢者学級「けやき学級」 市民講座「今日から始める子育てに活かす アンガーマネジメント」 6 その他 次回の日程 令和 6 年 6 月 4 日（火）午前 9 時 3 0 分～ 学習室 B		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の（4月17日開催）の報告

(1)報告事項

公民館事業の報告について

貫井南分館からは、市民講座「紫式部と源氏物語を知る」、市民講座「今日からできる認知症予防」、成人学校「リボンレイで作るバレンタインバックチャーム」を提出。報告に対する質疑無し。

(2)審議事項

公民館事業の計画について

貫井南分館からは、成人学校「楽しくトレッキング都民の森～新緑編、檜原村」、成人学校「本気でボディメイク」、第40回記念プレイベント「武蔵野の歌が聞こえる」、「第40回抜く南センターまつり」を提出、提案に対する質疑なし。

(3)協議事項

公民館の減免基準（案）及び(3)社会教育法第23条第1項第1号の解釈の周知について（令和5年12月14日 文部科学省通知）

現在、小金井市公民館条例第9条第1項第3号では営利目的による公民館の使用はできないと規定されているが、この文部科学省通知では、それが可能という解釈となっている。今後、小金井市公民館としては一定のルールによる「小金井市公民館利用のガイドライン」を作成し、そのに基づき運用する予定。

2 令和6年度公民館重点施策について

公民館長から提案のあった重点施策について説明を行った。

3 令和6年度企画実行委員連絡会連絡会について

5月開催の連絡会は中止することとし、各館の企画実行委員からの意見を基に今後継続するか新たな取り組みを行うか等について、分館長会議で検討することとした。

4 令和6年度講座企画について

現在決まっている講座案の確認、異議は無し。

7月の企画実行委員改正後、残りの講座について考える。

5 各講座の報告と計画

【報告】

○成人学校「楽しくトレッキング 新緑編」

例年５月下旬の開催であったが、他の日程日程の関係から１か月前倒しで開催。

事前学習では今回、参加者の自己紹介を取り入れた結果、参加者の一体感ができた印象があった。

当日の天候は不安定で時より雨も降りだったが、受講者からの希望もあり、予定していた行程を最後まで歩くことができた。帰路は予定より時間に余裕があったことから、下山後に立ち寄った「都民の森森林館」では希望者のみ開催しているプログラム（椎茸採取）に参加し、多くの受講者から好評を得られた。

【計画】

○第４０回貫井南センターまつり

スケジュールの確認を行った。

○令和６年度高齢者けやき学級

定員２４人のところ、２１人の応募があった。

他館では抽選で落選者が出ているため、落選通知の中でけやき学級の二次募集（先着順で３人）を行った。

新規受講生１５人、過去受講者９人、最高年齢は９２歳 最少年齢６８歳。

カリキュラムの野外学習について、ツアー会社へに見積額を再度確認したところ、１０月の日程が一年で一番人気がある週のため、バス予算が難しいかもしれないという返答があったため、９月の遠足日程と予定を入れ替えた見積もり確認を行う。

○市民講座「今日から始める子育てに活かす アンガーマネジメント」

７月６日（土）に開催予定。昨年同様保育付き講座予定であるが、保育士が確保できるかわからないため、こがねい保育サポーターさんへ確認を行う。

６ その他

企画実行委員より、以前に「掃除術講座」など男性を呼び込む講座を行ったところ、男性の参加者が少なかったが、公民館へ来館する男性を増やすためにも継続してほしい。

事例として最近健康課で行っていた「男性のみの料理教室」参加者人数 募集１２人、応募８人、実施６人と、参加人数は少ないが、今後のためにも公民館も企画を続けて行ってほしい。